# 令和8年8月千葉豪雨等を踏まえた内水氾濫対策（骨子）

資料４

## 施策の内容

### 氾濫を発生させないための治水対策

- 流域全体で取り組む内水氾濫の防止・被害軽減
- 一人ひとりが大雨時に実践できる取組の推進

### 氾濫に備えた地域全体の浸水対策

- 冠水したアンダーパスへの進入防止対策
- 被災車両による通行支障等を早期復旧するための事前対策
- 建築物における電気設備の浸水対策
- 都市における地下街等の浸水対策

### 氾濫から命を守るための避難行動の支援策

**（1）避難行動のあり方について**

- 内水氾濫時における避難行動のあり方
- 避難情報の発令の考え方
- 自動車で移動している者の避難行動のあり方
- 公共交通機関が運行停止した際の対応について

**（2）平時の情報提供について**

- 内水リスク情報の充実
- 危険箇所の事前周知

**（3）臨時の情報提供について**

- リアルタイムの浸水情報の充実
- 長時間予測・短時間予測・実況情報の高度化と活用
- 災害発生の危機感を県などに前広に伝達

**（4）情報提供手段の充実**

- 現在地および移動先におけるリスク情報の提供
- プッシュ通知の充実

### 防災政策を継続的に高度化するための仕組み

- 被災状況の共有
- 好事例の横展開と取組の継続的な実施

## 取組の進め方について

- 各施策については、「千葉豪雨以降に実施している事項」「次期出水期までに取り組む事項」「短期（１～２年）までに実施する事項」「短期（１～２年）検討事項」「中長期（概ね５年）検討事項」「一層加速して実施する事項」などの実施時期を示す。
- すぐに対応できない内容についても課題を示し、中長期的に検討を進めていくこととする。